

2025年1月16日
株式会社ダスキン

「開かずの金庫を開けろ！」でおなじみの鍵職人 玉置恭一が一日警察署長に ダスキンと西淀川警察署が『侵入犯罪抑止対策イベント』を開催

株式会社ダスキン（本社：大阪府吹田市、社長：大久保 裕行、以下、ダスキン）と大阪府西淀川警察署（以下、西淀川警察）は、昨今、凶悪化する侵入犯罪に対する防犯対策の重要性の周知・啓発を目的とした『侵入犯罪抑止対策イベント』を1月16日（木）に大阪市西淀川区にて開催しました。



防犯対策セミナー「ここが狙われている！
変わりつつある防犯対策」を開催



委嘱状を受け取る玉置恭一(右)
西淀川警察署 平生光範署長(左)



ダスキン サービスマスター事業による
「防犯フィルム」を貼ったガラスの強度実験
デモンストレーション風景

イベントでは、バラエティ番組などでも活躍する「開かずの金庫を開けろ！」でおなじみの鍵職人、ダスキンのレスキューサービス事業^{※1} テクニカルアドバイザーの玉置恭一が、西淀川警察の一日署長に就任。区民67人に向け防犯対策セミナーを開催し、2023年から増加傾向にある侵入窃盗の認知件数と昨今の傾向を説明するとともに、物理的侵入を防ぐ対策の重要性をお伝えしました。他にも、サービスマスター事業^{※2}から対策のひとつとして挙げられる「防犯フィルム」の有用性を示すデモンストレーションを実施。セミナー終了後には相談ブースにてダスキンの担当者が参加者からの個別の質問に対応しました。

イベントの最後には、啓発キャンペーンとして、柏里本通り商店街を西淀川警察の署員と玉置恭一をはじめとするダスキン担当者が巡回し、道行く人々に啓発チラシを配布することで、防犯対策の重要性を訴えました。

参加者からは「いつ、誰が入ってくるかわからないので、玄関の鍵の見直しや、窓に二重・三重のロックをかけて侵入予防をしなければならないと危機感を持ちました。」や「最近では震災がおこった時のことも考えないといけないので、防犯フィルムにすごく興味を持ちました。」などのお声をいただきました。

今回のイベントを通じて、多くの地域住民が防犯の意識を高め、具体的な対策ができるようになり、地域の安全が一層強化されることを期待しています。



・大阪府西淀川警察署 平生光範署長のコメント

関東圏では、闇バイトを介し、見ず知らずの者による民家を狙った強盗殺人事件等が多発しています。ガラス戸を叩き割り室内に侵入、家人を脅し、または監禁する等、その手口は急速に凶悪化しています。いつあなたの自宅が狙われるかわかりません。犯人は、時間を要することを嫌います。侵入されにくい防犯対策に努めてください。

・ダスキン レスキューサービス事業 テクニカルアドバイザー 玉置恭一のコメント

住宅の防犯対策は開口部から物理的に侵入できないように厳重な対策が必要な時代になっております。厳重な対策を講じることで少し不便になることも考えられますが、それが従来の侵入窃盗犯のターゲットから外れるアピールにもつながりますので、しっかりと対策をしていきましょう！

＜玉置 恭一（たまき きょういち）プロフィール＞

鍵業界歴25年。鍵職人としてテレビ東京系列『所さんの学校では教えてくれないそこんトコロ！』の「開かずの金庫を開けろ！」など多数のメディアに出演。2022年2月よりダスキンレスキューのテクニカルアドバイザーとして後進の育成にあたるとともに、防犯アドバイザーとしてセミナーも多数開催。



※1：レスキューサービス事業 (<https://www.duskin.jp/rescue/>)

鍵の修理・交換、鍵や金庫の解錠など、鍵に関するお困りごとを確かな技術と適正な料金で解決する「鍵の駆けつけサービス」を提供。安全安心なまちづくりの社会貢献活動の一環として、防犯意識の向上や住宅侵入犯罪抑止への啓発活動なども実施。

※2：サービスマスター事業 (<https://www.duskin.jp/servicemaster/>)

日本におけるハウスクリーニング事業のパイオニア。プロのお掃除技術の提供を通じて、ご家庭はもちろん数多くの事業所に対して20を超えるお掃除サービスメニューを展開。防犯フィルムの施工サービスも実施。

(窓用フィルム施工サービス <https://www.duskin.jp/servicemaster/window/sm000140/>)

【本件に関するメディアからのお問い合わせ先】

株式会社ダスキン 広報担当：平野、小林
TEL：06-6821-5006 FAX：06-6821-5357
MAIL：koho2@mail.duskin.co.jp